

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	『長く住みよい』家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0693	—	0566

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	H30年度も未経験工務店への供給が行えた。平成30年7月豪雨の災害により、建材メーカーの被災等があり、資材調達・物流が一次麻痺してしまっただが、情報の共有一元化が出来ていた為現場の混乱が比較的軽微なものにたった。しかし、H30年度は、交付申請から実績報告までの期間が短すぎたために、配分額を余らず結果になってしまった。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/10	名称	H30年度グリーン化事業説明		
	内容	説明会で聞いてきた内容をもとに、平成29年度からの主な変更点を説明する。特に交付申請及び実績報告の期間が短くなったことの説明を行った。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称			
	内容	各施工事業者が、内覧会等を利用して、説明会の実施しました。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	内容							
	工務店研修会 1	有	開催日	2019/01/11	名称	初市省エネ講習会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	グループ提携のサポートセンターと事務局が、未経験工務店を個別に対応した。また、省エネ講習会の案内等を積極的に参加を呼び掛けた。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	将来的な工務店の廃業、倒産に対して、グループ内の工務店と事務局が連携して履歴管理の継承や維持管理の保全をはかり、住まい手への安心と信頼向上に努めました。						
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	2020年度省エネ基準義務化に向けて、省エネ講習会の案内や積極的に参加するよう呼びかけてきました。まだまだ、意識の低い施工事業者が見受けられるので、今後とも積極的に講習会への参加及び住宅への普及を進めました。						
省エネ化に対する取組 ②							
内容							
BELS工務店の登録数	1社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	『長く住みよい』家づくりの会			
H30採択グループ番号	07	—	0693	— 0566

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/26	名称	2019年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	グループの特徴、共通ルールの確認を行い、平成30年度からの変更点や今期の配分枠の説明を行う。未経験工務店へのサポート強化の確認、需給予測を話し合う。又、省エネ講習会や技術講習会への積極的参加を呼び掛ける。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	長く住みよい家づくり		
	内容	各施工事業者が、完成見学会等を利用して長く住みよい家づくりの会の取組や、長期優良住宅の良さを随時伝えていくものとする。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/20	名称	技術力UP研修	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/10/18	名称	省エネ基準とZEHについて	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/11/22	名称	長期優良住宅と履歴管理について	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/12/20	名称	FPIによる資金計画と住宅の提案について	タイプ	座学
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/01/09	名称	高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)の勉強会	タイプ	座学

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	グループ提携のサポート機関と事務局が一体となり未経験工務店に対する個別サポートを行っていく。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	長期優良住宅マニュアル、省エネ技術講習の施工エキス等を活用した勉強会を行ったり、省エネ技術講習会への参加を呼び掛ける。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	経験の乏しい工務店については、補助金活用による提案ツールや認定申請書類の作成の支援をグループ提携のサポート機関とともにやっていく。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	将来的な工務店の廃業、倒産に対して、グループ内の工務店と事務局が連携して履歴管理の継承や維持管理の保全をはかり、住まい手への安心と信頼向上に努める。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	省エネ義務化を見据えた省エネ性能の向上とZEHやBELS制度による住宅性能の見える化など、住宅の省エネ政策にも積極的に取り組みます。また、外皮計算や一次エネ計算などは、設計事務所や各種証明書の申請関係の作成などは、提携サポートを活用する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	良質な住宅ストックの形成や既存住宅流通・リフォーム市場の活性化など国の施策に対応するべく、省エネ改修への積極的に取り組みます。また、施工方法・省エネ計算などは、外部講師による研修会等を実施などにより、グループ構成員の底上げを行います。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/08/08				
内容	グループで施工方法、施工基準を設定し、省エネ計算により性能の確認を行う。研修会や講習会を開催し、意見交換を行い改善していく。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	『長く住みよい』家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0693	—	0566

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>Tajima TAPOS(R)キカワの家の特徴として木のぬくもりのある『長く住みよい』家づくりの会での共通ルールとして、良質な住宅の提供を行っております。</p> <p>①長く安心できる住宅として原則、長期優良住宅については、耐震等級3(施主様希望のプランによるものは例外とする) ②兵庫県北部(但馬)や京都府北部ならではの夏の暑さや冬の積雪などの地域の気候事情に配慮した住宅デザインの提案 ③リビングなどの共有スペース部分に木材(化粧)を使用することを推奨し、居心地の良い空間づくりの推奨 ④高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)のフラット材を標準仕様として普及を目指しております。(施主様事情については例外とする)</p> <p>高強度梁仕口Tajima TAPOS(R)について 柔らかい杉の密度やめり込み強度に関する弱点を克服し、従来仕口の約3倍の強度を実現しております。</p>	●
----	---	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	地域材として地元の兵庫産、京都産および、その他の国内、国外の地域を指定しており、兵庫県産木材証明制度、京都府産木材認証制度、国内と海外の合法木材証明制度のいずれかを使用する。地域材の利用割合として、主要構造材(土台・柱・梁・桁)の60%以上使用を必須とする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	使用する地域材のサイズを絞り込み規格化に努める。絞り込んだ規格品の在庫量の増やし、生産・流通の効率化を行う。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	建材・資材等の標準仕様を設定し、仕入ルートのできる限りの統一化を図り、生産及び物流の効率化を徹底する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内での在庫量、需給状況等の情報を集約し把握することで一元化に努める。又、集約された情報をグループ構成員に提供し、共有化に努めます。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	各工程ごとに第三者機関または住宅省エネ講習受講者による検査を推奨しており、長期優良住宅のマニュアルや省エネ技術講習での施工テキストを活用し施工標準の整備を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	住宅履歴情報の管理データ化による履歴情報の共有管理に取り組んでおり、第三者機関の活用を推奨している。点検シートを活用した維持保全に努め、メンテナンスやリフォーム等の適切な提案に努める。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	各施工業者ごとに施工管理士や住宅省エネ講習技術者による社内検査を工程ごとに実施に努め、問題点、改善点等があった場合、速やかに是正を行い、グループで共有する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	プラン・見積り・施工工程等を明瞭かつ丁寧に説明を行い、資金相談や住まいの給付金などの各制度の提案に努める。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	省エネ基準の義務化に対応すべく、BELS取得による省エネ性能の表示の標準を目指し、今後スマートハウスや補助金活用などの新制度に対するため国や県の講習会に積極的に参加し、最新の技術や情報の取得を目指す。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	各施工業者ごとに業務の効率化や改善に努めることで、労働時間の短縮に努め、週休2日を目指すものとする。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	資格制度や施工経験などによる給与制度の導入等を検討する。
③ 社会保険への加入	有	内容	原則、保険の加入を呼び掛けに努める。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	朝礼時に各職長による健康状態の確認や敵的に清掃・点検・見回り等励行する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	『長く住みよい』家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0693	—	0566

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	施主の趣向により積極的な提案活用に努める。
② 和瓦の活用	有	内容	施主の趣向により積極的な提案活用に努める。
③ 襖・障子の活用	有	内容	施主の趣向により積極的な提案活用に努める。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	柳ごうりや北山杉などの活用または、提案に努める。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	但馬・京都によく見かける杉の焼板や塗り壁などの提案を行う。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	家族が集う大広間のある空間や無垢のフローリングや木目調の物など、木のぬくもりを感じる空間の提案を行う。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域の景観や風致などの建築上の法令や条例に従うものとする。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
被災地からの材料、資材の購入
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
グループ構成員と連携を図り、資材の供給や施工作業員の貸し借りなどの助け合い、グループとして対応する。